

# エネマネハウス

# 2014

## 5大学が提案する2030年の家 CREATE THE FUTURE

2014年1月29日～31日、東京東雲に、経済産業省資源エネルギー庁事業の一環として、大学と企業の連携により、「2030年の家」をテーマに「エネルギー」「ライフ」「アジア」の3つのコンセプトの下、全国の大学に対してコンペを実施し5大学が選出されました。各校が先進的な技術や新しい住まい方を提案する『エネマネハウス』が建築・展示され、好評のうち展示公開が終了しました。このたび改めて、京橋・新宿の2会場を連携して、選抜された5大学×企業が考える『エネマネハウス』を多くの方々にご紹介することとなりました。期間中には京橋・新宿の2会場それぞれでシンポジウムも開催します。ぜひ5大学の、学生主体で企業や先生方と共に全力投球した2030年の家の提案を体感していただければ幸いです。

※エネマネハウスとは、エネルギー・マネジメントハウスの略

● 人と共に社会を進化させる住宅  
「慶應型共進化住宅」  
慶應義塾大学

● CLTの環境シェルターシェア型住宅  
「母の家2030」  
芝浦工業大学

● 震災復興をイメージした自立住宅  
「ルネ・ハウス」  
千葉大学

● 都市型集合住宅のZEHプロトタイプ  
「CITY ECOX」  
東京大学

● 重ね着するすまい  
「Nobi-Nobi HOUSE」  
早稲田大学



京橋会場

2014年6月3日(火)～6月14日(土)

(6月8日(日)・9日(月)は休館) 開場時間10:00～18:00 \*金曜日のみ～19:00

AGC studio エントランスギャラリー

〒104-0031 東京都中央区京橋2-5-18 京橋創生館1・2階

TEL.03-5524-5511 <http://www.agcstudio.jp/>

入場  
無料

新宿会場

2014年6月5日(木)～6月17日(火)

(6月11日(水)は休館) 開場時間 木～火曜 10:30～19:00

リビングデザインセンターOZONE リビングデザインギャラリー

〒163-1062 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー 7F

TEL.03-5322-6500 <http://www.ozone.co.jp>

入場  
無料

運動シンポジウム開催 ●各シンポジウムのお申込みは必要事項をご記入のうえ [infoenmn@gmail.com](mailto:infoenmn@gmail.com) まで

エネマネハウス2014で考えたこと Part 1 建材・構法編

日時 6月7日(土) 17:00～18:30

会場 AGCstudio 2F会議室

進行・パネラー 清家剛氏(東京大学准教授)

パネラー 池田靖史氏(慶應義塾大学教授)、青島啓太氏(芝浦工業大学特任助教)、田島翔太氏(千葉大学博士課程)、古谷誠章氏(早稲田大学教授)

エネマネハウス2014で考えたこと Part 2 環境・設備編

日時 6月14日(土) 17:00～18:30

会場 リビングデザインセンターOZONE 8F セミナールームA

進行・清家剛氏(東京大学准教授)

パネラー 西宏章氏(慶應義塾大学教授)、秋元孝之氏(芝浦工業大学教授)、川瀬貴晴氏(千葉大学教授)、前真之氏(東京大学准教授)、田辺新一氏(早稲田大学教授)

定員:各会場50名(予約制) 参加無料です。希望者は、お名前/所属/メールアドレス/①両日とも参加 ②6/7参加 ③6/14参加をご記入になり、「エネマネハウス2014展覧会事務局」までメールでお申し込みください。エネマネハウス2014展覧会事務局 [infoenmn@gmail.com](mailto:infoenmn@gmail.com)

主催:エネマネハウス2014展覧会実行委員会 ■共催:旭硝子株式会社、東京ガス株式会社 ■協賛:旭化成ホームズ株式会社、積水ハウス株式会社 ■後援:経済産業省(予定) ■協力:AGC studio、リビングデザインセンター OZONE

# FUTURE DESIGN

「エネルギー」「ライフ」「アジア」という3つのコンセプトを軸にしなが、2030年の家をテーマにした住環境を提案。自然環境だけでなく、社会環境も加味しながら、これからのアジアにおける未来の住まいづくりが考えられている。



## ■慶應義塾大学 —人と共に社会を進化させる住宅— 「慶應型共進化住宅」

自然素材の建材を使用し、居住空間内で体感される熱環境や視覚的效果から人間の健康をサポート。また、可能な限り壁面を緑化し、都市の温熱環境の改善に貢献するだけでなく、隣接する空間に対しても環境を向上させている。アジアの環境都市開発も意識しており、水辺利用が可能な技術の開発や、季節差の大きい国々でも使える自立性の高い環境制御システムも付加されているのが特長。新しい構法を導入することで、住まい手とともに進化する住宅となっている。



## ■芝浦工業大学 —呼吸する屋根・環境シェルターによるシェア型居住スタイル— 「母の家2030」

「個」が集まるライフスタイルから、「共」のつながるライフスタイルへの転換を目指す住宅として、ZEH長屋という新たな環境を提案。内部化と外部化のしつらえを変化させる開放的な空間構成を実現し、開かれたZEHに挑んだ。また、アジアのさまざまな国で活用できるように、地産地消型の大きな屋根「呼吸する屋根」と、パッケージ化された「環境シェルター」を導入。エネルギーもその土地に合わせてカスタマイズ可能。今回は、太陽光発電、太陽熱利用の温水システム、蓄電池を採用している。



## ■千葉大学 —震災復興をイメージした自立住宅— 「ルネ・ハウス」

災害復興支援住宅を発想の原点とした、高機密高断熱の住宅を提案。木の使用にこだわり、構造体の材料として用いるだけでなく、サッシや断熱材にも木質素材を使用している。建物はプレハブ化が可能なコアとなる部分と、集成材を利用した大架構に分けることで、閉鎖的な空間と開放的な空間というふたつをどちらも実現できるようになっている。また、大架構部分の二重床をはじめとして更新可能なスケルトンインフィルにすることで長期的な利用も可能にした。



## ■東京大学 —都市型低層集合住宅のZEHプロトタイプ— 「CITY ECOX」

さまざまな変化へ柔軟に対応する、フレキシビリティを持った都市型集合住宅を提案。この住宅が増えることで周辺を含めた都市としての環境が向上することを目的としており、自然エネルギーを独占しないこともポイントとなっている。技術的には、太陽の動きを追尾する可動PVルーバーや、一台のエアコンで各室の空調をおこなうエアマネジメントシステム、日射熱を効果的に利用する透光型蓄熱建具を採用。この住宅は「エネマネハウス2014」の最優秀賞を受賞した。



## ■早稲田大学 —重ね着するすまい— 「Nobi-Nobi HOUSE」

中心の「設備コア」を「居住ゾーン」が取り囲み、その周囲を「Nobi-Nobiゾーン」が取り囲む三重構造の住宅を提案。断熱を施した「居住ゾーン」には、「設備コア」で作られたお湯や電気が送られ、床冷暖房や照明に利用される。一方、「Nobi-Nobiゾーン」は、太陽からの日射をそのまま利用するパッシブな構造となっている。冬は温室として利用でき、夏はすだれをかけるなど、住民の好みに合わせて「Nobi-Nobiゾーン」を重ね着をさせて快適に過ごせるような空間を提案。エネルギー、ライフ、アジアがわかりやすく同居した住宅である。

# ADVANCED TECHNOLOGY

ゼロ・エネルギー・ハウスの実現には、省エネ性能の高い住宅設備や、再生可能エネルギーが欠かせません。AGC旭硝子は得意とするガラス技術で、未来の住まい環境をサポート。ここではそんな最新技術がご覧いただけます。

## 先進技術のLow-Eガラス



### サンバランス エシ리즈

2枚のLow-Eガラスの間に、断熱性の高い、無色で安全なアルゴンガスを密閉することで、従来の乾燥空気入りに比べて冷暖房効果は30.2%増。さらに、明るさも従来品より6.7%向上させた「サンバランス」のエシ리즈。

さらに、ここではLow-Eガラス2枚、フロート板ガラス1枚の計3枚を使用し、その間にアルゴンガスを充填した最新の高断熱窓「サンバランス トリプルペアガラス」を展示。熱貫流率0.8w/mk、可視光透過率55.5%、紫外線カット率94.1%という驚きの性能を実現。

### サンバランス トリプルペアガラス

## 可能性が広がる太陽光電池

### サンジュール



### ライトジュール



両面採光・大型モジュールによる太陽光発電システム「サンジュール」。天井への水平設置や壁面での垂直設置など、デザイン性高く使用することができます。モジュールの支持方法にサッシ構法とフレームレス構法があるためレイアウトも自在。また、屋根専用の太陽光電池「ライトジュール」は、AGCの化学強化特殊ガラス「Leoflex」を採用したことで従来品よりも約1/2程度軽量化に成功。これまで設置できなかった場所でも気軽にお使いいただけます。

## シンポジウム 「エネマネハウス2014で考えたこと」 — Part 1: 建材・構法編 —

エネマネハウス2014参加5大学の教授らが一同に集まり、同イベントを振り返ります。

日時 2014年6月7日(土) 17:00~18:30 (16:30受付)

会場 AGC studio 2F会議室

定員 50名(事前申込制・先着順)

入場  
無料

進行・パネラー 清家剛氏(東京大学)、  
パネラー 池田靖史氏(慶應義塾大学)、  
青島啓太氏(芝浦工業大学)、  
田島翔太氏(千葉大学)、  
古谷誠章氏(早稲田大学)

お申込みはエネマネハウス2014展覧会事務局まで必要事項をご記入のうえ、メールにてお送りください。 infoenmn@gmail.com



[内容に関するお問い合わせ]

# AGC studio

開館時間: 10:00~18:00、10:00~19:00(金曜日)

休館日: 日曜日・月曜日・祝日・年末年始・夏期休暇

東京都中央区京橋2-5-18 京橋創生館1・2階

TEL03-5524-5511

www.agcstudio.jp

Produced by **AGC**

